

# H28 豊島区生活支援体制整備事業

|       |     |        |            |
|-------|-----|--------|------------|
| 主管課担当 | H27 | 高齢者福祉課 | 総合事業構築G    |
|       | H28 | 高齢者福祉課 | 介護予防G      |
|       | H29 | 高齢者福祉課 | 高齢者事業G（予定） |

※区の人事異動により、担当課長及び係長が変更となった。

来年度についても、業務分掌等の検討により担当が変わる予定・・・

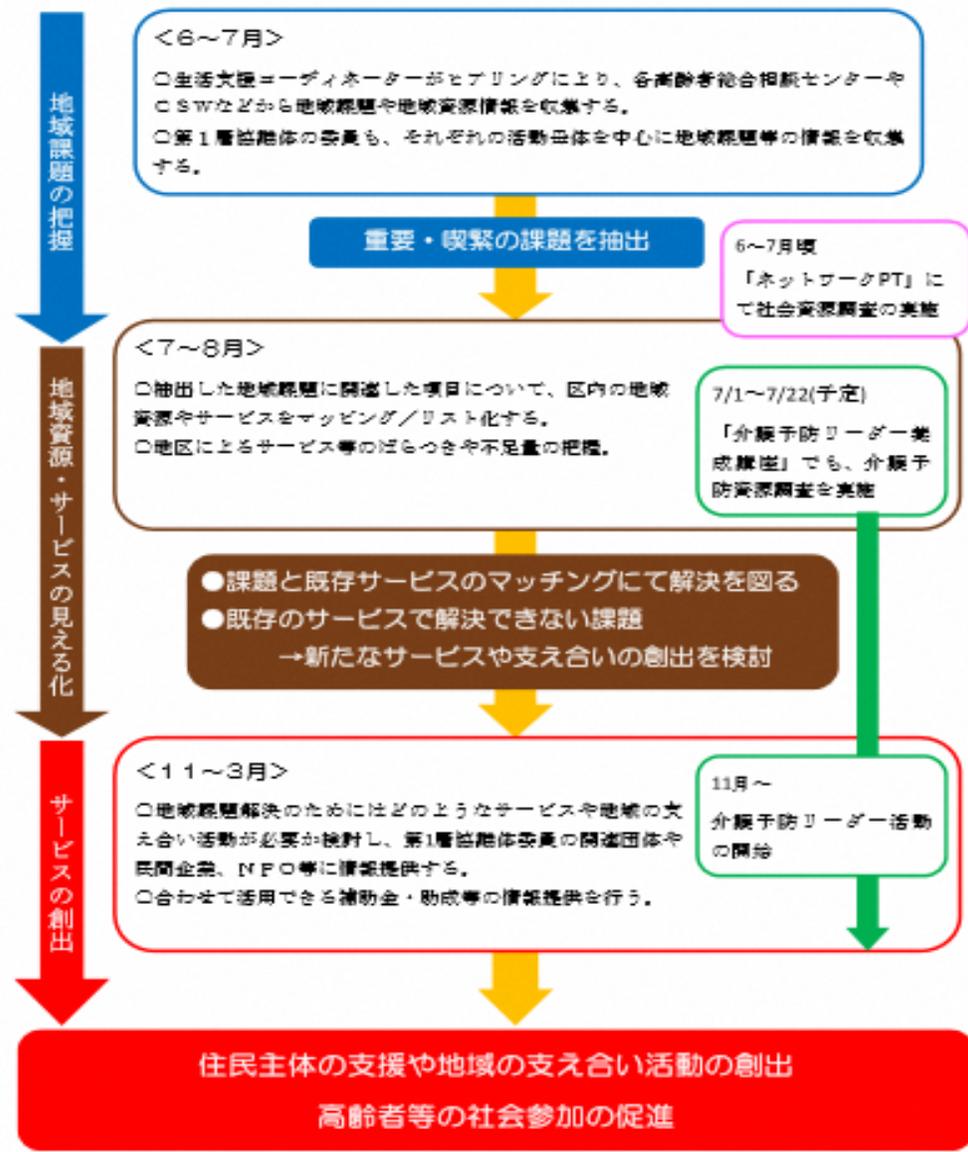
1. 目的

- 高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進し、互助を基本とした生活支援等サービス創出のための取組を積極的に進める。
  - 元気な高齢者をはじめ、住民主体の活動やNPO、地域組織、民間企業などの多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を地域全体で支える体制づくりを進捗させる。
  - 高齢者等の社会参加を促進する。
- =住民主体の支援や地域の支え合い活動の創出

2. 取組の内容



3. 事業の流れ



※高齢者総合相談センターへは、6/21の実証連絡会にて打合せ・説明予定。

# H28豊島区生活支援体制整備事業

## 1. 目的

- \* 高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進し、互助を基本とした生活支援等サービス創出のための取組みを積極的に進める。
- \* 元気な高齢者をはじめ、住民主体の活動やNPO、地縁組織、民間企業などの多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を地域全体で支える体制づくりを推進する。
- \* 高齢者等の社会参加を促進する。

総合事業における

B型のサービス(住民主体による支援) や  
地域の支え合い活動の創出及び高齢者等の社会参加の促進

# 社会的孤立の問題に対応し、 地域づくりをすすめる

## 高齢者の抱える課題の認識

- \* 高齢者の持つ福祉課題・生活課題を考えたとき、「介護」「介護予防」といった制度の枠組みの中だけで考えるのではなく、それ以前に、人間関係の希薄化、社会的孤立からくる様々な課題に着目する必要がある。
- \* 「助け合い活動」は、活動を通して孤立している人々とつながり、その人と地域社会とのつながりを回復するという、住民・市民自身の活動であるからこそ可能な、また固有の働きを持っている。

## 目指す地域支援事業の方向

- \* 高齢者と地域社会との関係の回復・維持に向けた取り組みを含み組み立てる。

# サービスだけではなく、 地域全体で支える力を育んでいく

## 新しい総合事業の考え方

- \* 地域に必要な活動を基本に、要支援者等の高齢者のニーズをよく見極めるとともに、住民が主体となって地域づくりをすすめるために、どのような施策が必要かという観点から取り組むこと。
- \* 支援する側と支援される側という画一的な関係性ではなく、地域とのつながりを維持しながら、有する能力に応じた柔軟な支援を受けていくこと。

# 高齢者等の社会参加を促進する

- \* サービスの担い手として高齢者等の参加が促されるよう、高齢者ならではの活動参加の意義や特徴を理解し、高齢者がサービス提供に関わることのメリットを最大化する。

## 高齢者が活動に参加する意義・特徴

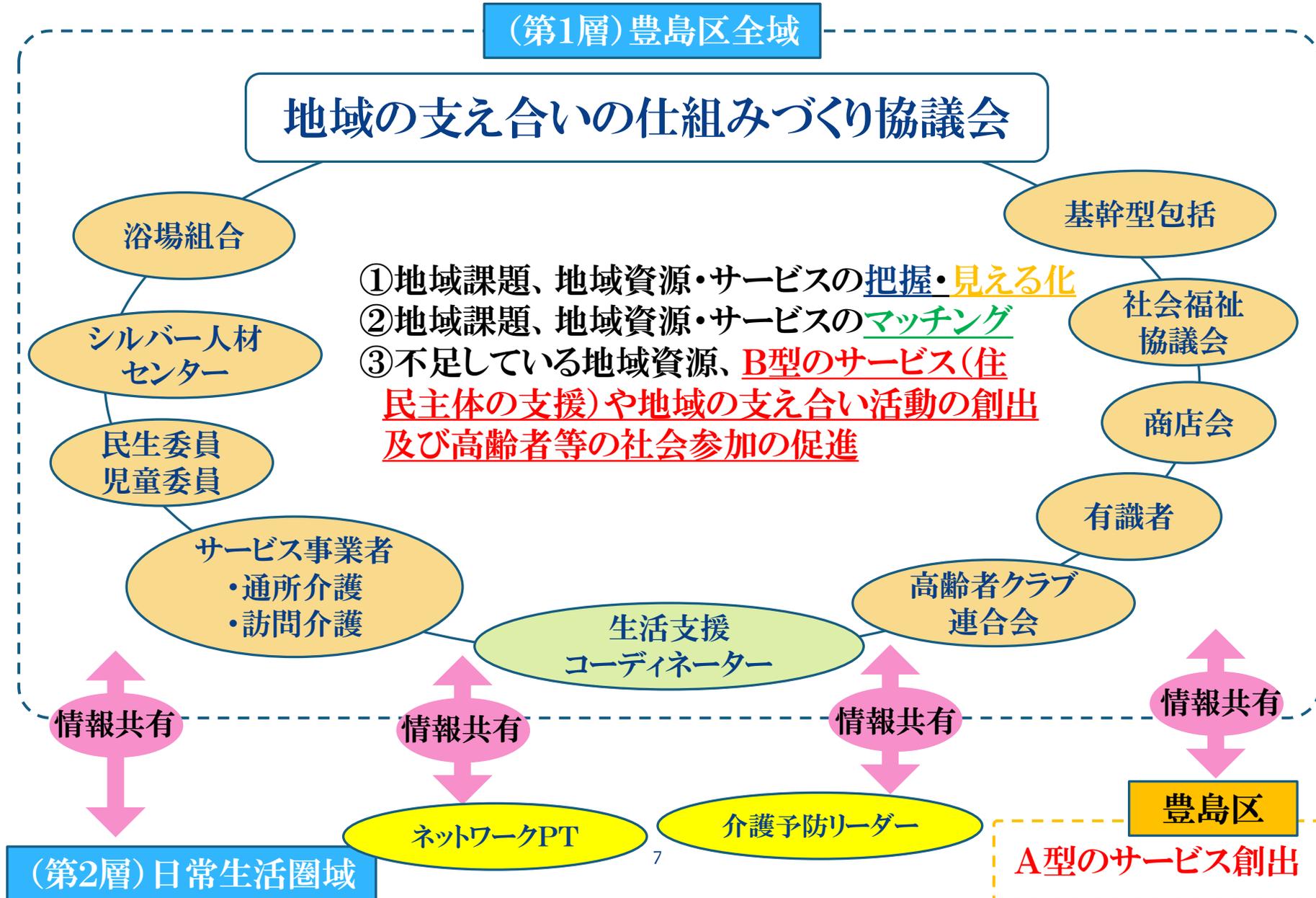
- \* 同じ時代を共有した仲間意識
- \* ジェネレーションギャップが少ない
- \* 豊富な生活知識や暮らしの知恵
- \* 体調や身体状況への配慮
- \* 生活のしづらさへの共感
- \* 人間関係力や精神的安定力
- \* 多様な知識や経験の宝庫
- \* 出身地域や背景の多様さ

## 高齢者がサービス提供に関わることのメリット

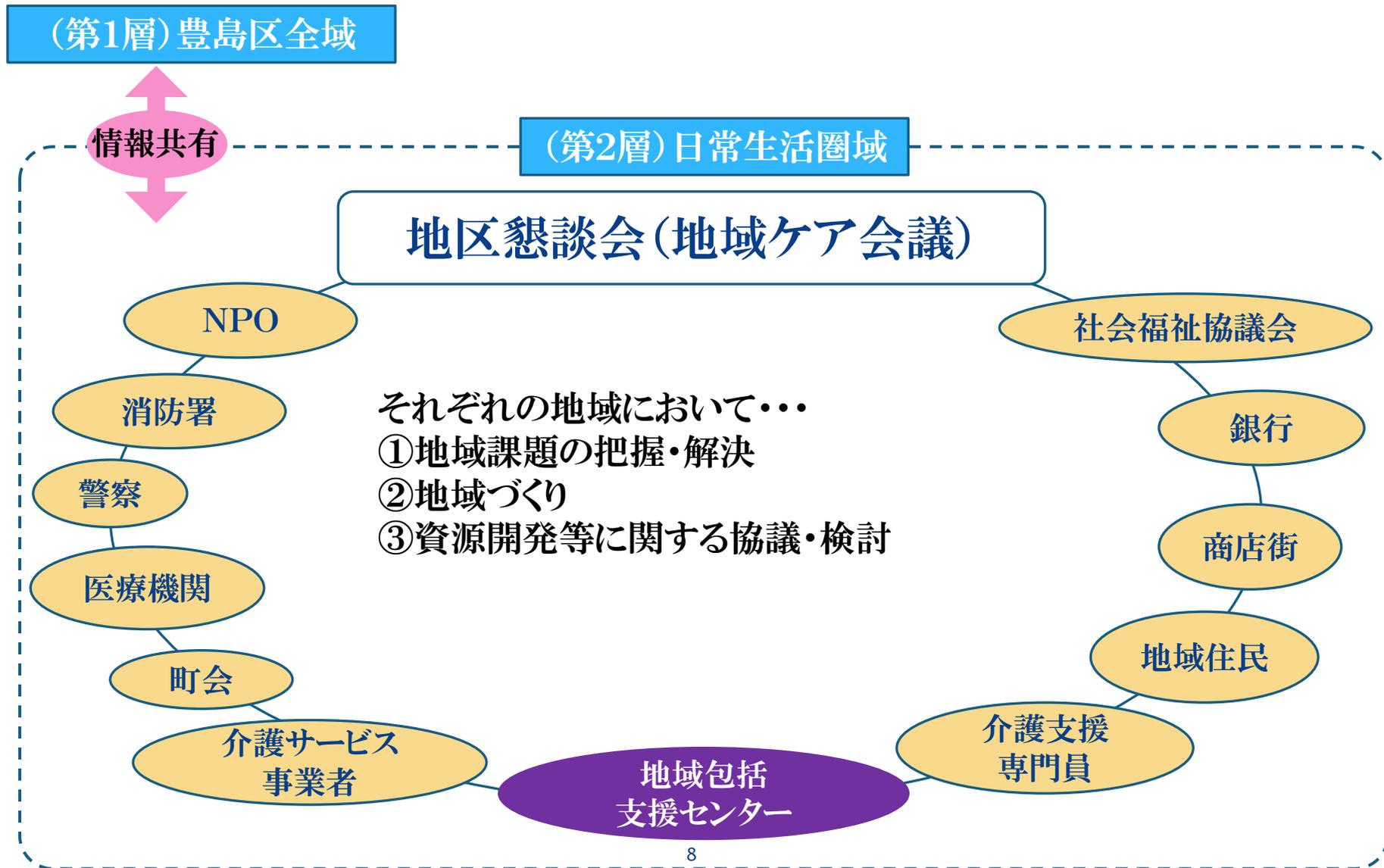
- \* 生きがい
- \* 満足感
- \* 自己有用感
- \* 健康管理

高齢者等の  
社会参加の促進へ

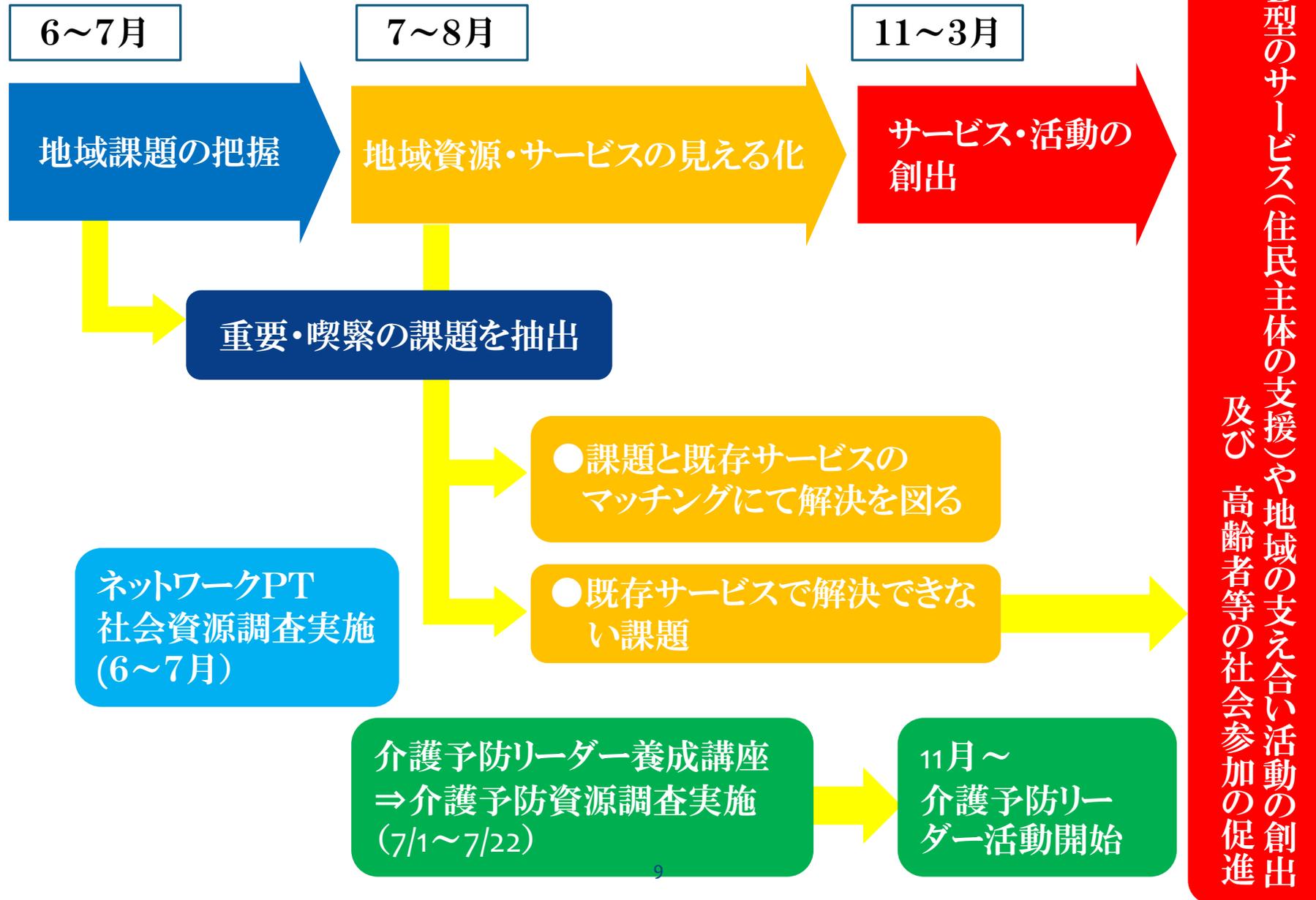
# 2. 取組の概要



【参考】 第2層協議体の連携イメージ



# 3. 事業の流れ



# 3. 事業の流れ

6~7月

地域課題の把握

- 生活支援コーディネーターがヒアリングにより、各高齢者総合相談センターやCSWなどから地域課題や地域資源情報を収集する。
- 第1層協議体の委員も、それぞれの活動母体を中心に地域課題等の情報を収集する。

重要・喫緊の課題を抽出

# 3. 事業の流れ

7~8月

地域資源・サービスの見える化

重要・喫緊の課題を抽出

- 抽出した地域課題に関連した項目について、区内の地域資源やサービスをマッピング/リスト化する。
- 地区によるサービス等のばらつきや不足量の把握。

7/1-7/22(予定)

「介護予防リーダー養成講座」でも、介護予防資源調査を実施

6~7月「ネットワークPT」にて社会資源調査を実施

●課題と既存サービスのマッチングにて解決を図る

●既存サービスで解決できない課題  
⇒新たなサービスや支え合いの創出を検討

11 高齢者等の社会参加の促進の視点

# 3. 事業の流れ

11~3月

サービス・活動の創出

新たなサービスや支え合いの創出を検討

- 地域課題解決のためにどのようなサービスや地域の支え合い活動が必要か検討し、第1層協議体委員の関連団体や民間企業、NPO等に情報提供する。  
⇒担い手となるよう提案する
- 合わせて活用できる補助金・助成金等の情報提供を行う。

11月～  
介護予防リーダー活動の開始

B型のサービス（住民主体の支援）や地域の支え合い活動の創出  
及び 高齢者等の社会参加の促進

## 【課題】

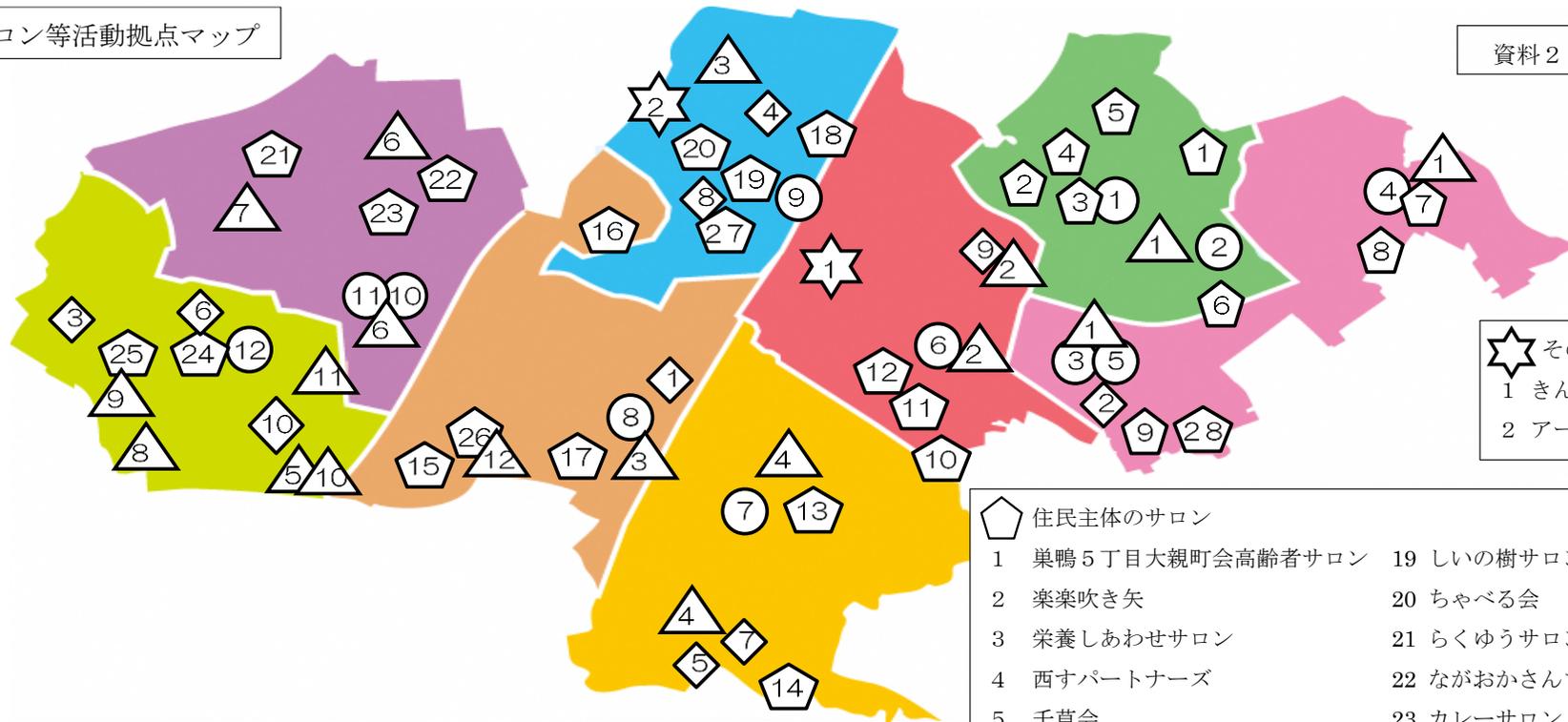
- ①B型のサービスへの補助の方法
- ②既存/A型サービスとの住み分け、競合
- ③「地域の支え合い」活動に対して行政が介入することの是非

| 機能区分   |                | 全域共通   |  |  |   |   |   |
|--------|----------------|--|--|--|---|---|---|
| 支援の担い手 |                | 買物支援   | 家事支援   | 外出支援   | 配食  | 声かけ・見守り等  |   |
| 1      | 介護保険サービス事業者    | (買物代行・同行)<br>介護予防訪問介護事業所   | (ゴミ出し・清掃等)<br>介護予防訪問介護事業所  | (付き添い(同行型))<br>介護予防訪問介護事業所                     | 介護予防訪問介護事業所   | いけよんの郷配食サービス<br>顔みて食べよう会 【いけよん】<br>ふれあい給食(アトリエ村単独事業) 【アトリエ】   | いけよんの郷配食サービス<br>顔みて食べよう会 【いけよん】<br>ふれあい給食(アトリエ村単独事業) 【アトリエ】 |
| 2      | 1 以外の民間サービス事業者 | (買物代行・同行)<br>家事援助サービス(シルバー人材センター)<br>(配達・移動販売)<br>コンビニ・スーパーによる配達<br>生協・商店による配達 | (ゴミ出し・清掃等)<br>家事援助サービス(シルバー人材センター)<br>(庭木の剪定・住環境維持等)<br>一般作業(シルバー人材センター) | (付き添い(同行型))<br>移送サービス(介助付登録制タクシー)<br>(送迎サービス等) | 家事援助サービス(シルバー人材センター)<br>弁当宅配 ふれ愛、クック123、けんたくん<br>コープデリの夕食配達<br>まごころ弁当、ワタミの宅食 など | 家事援助サービス(シルバー人材センター)<br>弁当宅配 ふれ愛、クック123、けんたくん<br>コープデリの夕食配達<br>まごころ弁当、ワタミの宅食 など                               |   |
| 3      | NPO法人など        | (買物代行・同行)<br>ぶどうの木<br>システムハイ   | (ゴミ出し・清掃等)<br>ぶどうの木  | (付き添い(同行型))<br>ぶどうの木                           | ぶどうの木   | ぶどうの木<br>安心して暮らせる地域づくり(ささえ手)【西部】  |   |
| 4      | 町会等地縁組織        | (買物代行・同行)  | (ゴミ出し・清掃等)<br>環境美化運動(町会内道路清掃)<br>資源回収(新聞・缶・ビン等)<br>ごみ収集(燃えるごみ)           | (付き添い(同行型))                                    | なかよしさくら会(都営駒込アパート自治会)<br>【東部】   | なかよしさくら会(都営駒込アパート自治会)<br>【東部】   |   |
| 5      | 自主グループ         | (買物代行・同行)  | (ゴミ出し・清掃等)<br>(庭木の剪定・住環境維持等)   | (付き添い(同行型))<br>(送迎サービス等)                       | おたすけクラブ(池袋本町) 【いけよん】  | おたすけクラブ(池袋本町) 【いけよん】<br>池袋つつじ苑 茶話会 【いけよん】<br>池袋本町つつじ苑 茶話会 【いけよん】<br>「楽居」 【東部】<br>シニア見守り活動(長崎十字会商店会)<br>【アトリエ】 |   |
| 6      | 近隣のささえ合い       | (買物代行・同行)  | (ゴミ出し・清掃等)<br>(庭木の剪定・住環境維持等)   | (付き添い(同行型))<br>(送迎サービス等)                       |   | カフェキャッツ(見守り活動) 【中央】   |   |
| 7      | その他            | (買物代行・同行)<br>学生出前定期便(大正大学・社協)【菊】<br>(配達・移動販売)                                  | (ゴミ出し・清掃等)<br>(庭木の剪定・住環境維持等)   | (付き添い(同行型))<br>(送迎サービス等)                       |   |   |   |
| 8      | 社会福祉協議会        | (買物代行・同行)<br>リボンサービス<br>困りごと援助サービス   | (ゴミ出し・清掃等)<br>リボンサービス<br>(庭木の剪定・住環境維持等)<br>困りごと援助サービス                    | (付き添い(同行型))<br>リボンサービス<br>(送迎サービス等)<br>ハンディキャブ | リボンサービス   | リボンサービス   |   |
| 9      | 豊島区(行政)        | (買物代行・同行)  | (ゴミ出し・清掃等)   | (付き添い(同行型))<br>ガイドヘルプ                          | 高齢者配食サービス<br>アースサポート、至福弁、豊芯会  | 高齢者配食サービス<br>火災安全(一般施策)<br>声かけ見守り事業(シルバー人材委託)   |   |

| No. | 支援の担い手<br>組織   | 日常生活圏域  |  |   |   |   |   |                              | その他   |
|-----|----------------|---|--|---|---|---|---|------------------------------|---|
|     |                | 菊かおる圏域  | 東部圏域   | 中央圏域  | ふくろう圏域  | 医師会圏域   | いけよんの郷圏域  | 西部圏域                         |   |
| 1   | 介護保険サービス事業者    | 介護予防通所介護<br>喫茶そよ風(菊かおる圏)  | 介護予防通所介護<br>◇オレンジカフェもさんち(マルシモ)   | 介護予防通所介護<br>◇出前カフェあったか<br>(中央高齢者総合相談センター)   | 介護予防通所介護<br>◇MeMoカフェ(日本福祉教育専門学校)<br>◇仄仄カフェ(山吹の里)  | 介護予防通所介護<br>◇目白MMカフェ  | 介護予防通所介護<br>アートカフェ<br>顔みて食べよう会(いけよん)<br>いけよんプロジェクト<br>◇オレンジカフェ(泉湧く家)<br>◇オレンジカフェ まんぞく(まんぞく介護)<br>●ふれ愛グループ(地域でのボランティア活動)<br>高齢者福祉施設関係、訪問看護など<br>いづみ幼稚園(高齢者と交流)<br>いけよんプロジェクト | 介護予防通所介護<br>千川豊寿園<br>ボローニア要町 | 介護予防通所介護<br>ふれあい給食(アトリエ村単独事業)<br>カフェ(季節ごと)(認知症GH田楽)<br>◇いづみサロン(長崎いづみの家)<br>◇とことんカフェ(ケアフレンド)<br>◇そよかぜカフェ ひまわり<br>(風かおる里) |
| 2   | 1 以外の民間サービス事業者 |   | 豊芯会(Cafeふれあい)<br>豊芯会(ハートランドひだまり)   | パソコン教室(シルバー人材センター)<br>カルチャー教室(東武/西武デパート)<br>マー جان 教室<br>ワークショップ等(ほっこりプラス)<br>セルフカフェ(としまアートステーションZ)   |   |   |   |                              |   |
| 3   | NPO法人など        | コミュニティカフェ養鳥(薬の会リーラ)   | 妻の家  | パソコン教室(シルバー人材センター)<br>ほっこりプラス<br>ワークショップ・講座・手作り品販売  | みんなのえんがわ池袋<br>囲碁や絵手紙(とことん)<br>みらい館大明  | いけよんプロジェクト<br>立正佼成会サロン(災害時取り組み)<br>●ふれ愛グループ(地域でのボランティア活動)<br>まちづくり協議会<br>西池友の会(池袋西教会)タロウ寄付                  |   |                              |   |
| 4   | 町会等地縁組織        | 高齢者クラブお楽しみ会<br>朋友会・東広会 など<br>千草会(親交町会有志)【第4土10:30~】<br>北大塚一丁目 防災マニュアル<br>北大塚一丁目アパートサロン<br>アゼリア会(民生委員中心)<br>華の会(巣鴨地蔵通り商店会下部組織)   | なかよしさくら会(都営駒込アパート自治会)<br>創年サロン結の会<br>(池袋西池袋町会の支援、2カ月に1回)<br>サロン「ほがらか会」<br>(日出優良商店会の協力、2カ月に1回)                    | 診療所主催のうたの会【月1回】<br>(鬼子母神)<br>友引の会(池袋3丁目親交町会)<br>みみずくサロン(妙法湯、ひろば富士見台)<br>ふれあいいききサロン(西池袋4丁目自治会)<br>サロン寿(元民生委員主催、空家活用)<br>サークル友遊(西池袋第2区民集會室)<br>みたけクラブレクリエーション(池袋御嶽町会) | きずなサロン(池袋本町1丁目町会)<br>いけよんプロジェクト<br>●ふれ愛グループ(地域でのボランティア活動)<br>民生委員、町会<br>4丁目町会婦人部<br>シスナブ健康文化クラブ | ほっとサロン(区民ひろば千早民生委員主催)<br>サロンTSK♥(民生委員の勉強会)<br>(→「たすけあい」)<br>地域福祉推進委員会(高松2丁目町会)                              | 元気！ながさきの会<br>高齢者クラブ<br>みみずくサロン みみずく(区民ひろば推名町)<br>みみずくサロン ふじみだい(区民ひろば富士見台)<br>みみずくサロン ながさき(区民ひろば長崎)<br>みみずくサロン さくら(風かおる里)<br>ほっとサロン  |                              |   |
| 5   | 自主グループ         | あしたの会<br>趣味の自主グループ(区民ひろば)<br>※三力所で21グループ<br>月曜の会(菊、喫茶そよ風)<br>栄養しあわせサロン<br>西サパートナーズ<br>楽楽吹き矢<br>大観町会高齢者サロン   | 「楽居」(個人宅ベース開放のサロン)<br>南大塚都電沿線協議会(バラの会)<br>大塚公園(ラジオ体操)  | サロンひまわり(被災者交流、月1回)<br>高南ふれあいサロン(月1回)<br>豊島えくぼの会<br>サロン さんぼ道(毎週金)  | 傾聴ボランティア<br>気ままにラロゴ(立ち上げ準備中)<br>おたすけクラブ   | 荻野さん運営のサロン(自宅)<br>●ふれ愛グループ(地域でのボランティア活動)<br>おたすけクラブ   | ながおかさち(空屋利用の子育てサロン)<br>らくゆうサロン千川の杜(地域福祉サポーター)<br>しなまちみとら(仲間づくり)<br>たけのこクラブ(学習支援ボランティア)<br>あおぞら学習会<br>(民生委員、地域住民、地域福祉サポーター等)   | 元気！ながさきの会                    |   |
| 6   | 近隣のささえ合い       |   | スマートカフェ(南大塚)<br>※個人宅ベース提供  | カフェキャッツ(地域の高齢者が集う)<br>山田荘(木造賃貸住宅を地域開放)  | カラオケ(スナック・カラオケ店)<br>パセラ(がんばれ！子供村)   | お話しやお茶のみ(マコ美容室)<br>柿の木おばあちゃんの家 AKOさん<br>斎藤さん<br>AKOさん<br>子ども食堂<br>●ふれ愛グループ(地域でのボランティア活動)<br>地域住民            | 要町あさやけ子ども食堂<br>分譲マンションサロン茶話会<br>豊島ハイツ「茶の集い」<br>大浜さん(毎週木曜日開催の売店)   |                              |   |
| 7   | その他            | 大正大学鶴台プロジェクトセンター  |  |   |   | 茜の里スカーレット(喫茶)<br>立正大学等サークル  | カフェまめの樹<br>café ルイ(土曜日のみ営業)<br>11:30-17:00通常営業<br>17:00-19:00カレーサロン<br>無量大成塾(平成の寺子屋)<br>夜の児童館<br>稚名町こども食堂   |                              |   |
| 8   | 社会福祉協議会        | 巣鴨さろんカモノス   | 大塚茶かもん会  | カフェあったか<br>きんぎょサロン  | 傾聴ボランティア<br>読み聞かせ講座<br>高齢者元気あとし事業   | いけよんプロジェクト<br>●ふれ愛グループ(地域でのボランティア活動)<br>CSW   | ゆったり茶の間(区民ひろば高松)<br>区民ミーティング  |                              |   |
| 9   | 豊島区(行政)        | 区民ひろば<br>カフェあさひ(区民ひろば朝日)<br>チャレンジデイ(区民ひろば朝日)<br>くつろぎ茶の間(区民ひろば朝日)<br>区民ひろば清和第一<br>地域文化創造館<br>介護予防サロン<br>ほほえみサロン<br>中山道サロン(男性対象)<br>介護予防サポーター<br>サロンサポーター<br>元気あとし事業<br>区民ひろば事業を支える運営委員<br>各種行事の企画・手伝い<br>グリーンカーテン(清和)<br>花壇の手入れ(西巣鴨) | 区民ひろば南大塚<br>区民ひろば駒込<br>区民ひろば仰高<br>こまごめサロン(区民ひろば駒込)<br>スマートエイジング倶楽部(男性対象)<br>(区民ひろば南大塚) 包括<br>おおつかサロン(区民ひろば南大塚)包括 | 東池サロン(区民ひろば朋有) 包括<br>ジャンプ東池袋<br>おとこのサロン(区民ひろば目白) 包括<br>ふくろうサロン(池袋敬心苑)<br>雑司が谷サロン(池袋敬心苑)   | としまアートステーションZ<br>雑司ヶ谷案内処  | 湯友サロン<br>西池サロン(豊島区医師会館) 包括<br>いけよんプロジェクト<br>区民ひろば池袋<br>区民ひろば池袋本町<br>しいの樹サロン(区民ひろば池袋)<br>介護者教室<br>いけよんサロン 包括 | 要町サロン(区民ひろば要) 包括<br>ささえ手サロン(ささえ手)<br>アトリエクラブ(アトリエ村) 包括  |                              |   |

# 交流の場の運営状況について

| 項目                       | 事例①   | 事例②   | 事例③   | 事例④   | 事例⑤   |
|--------------------------|---|---|---|---|---|
| 居場所・サロンの名称               | なかよしさくら会  | 楽居  | サロンさんぼ道   | らくゆうサロン   | コミュニティカフェ葵鳥   |
| 運営開始時期/開催頻度              | 平成26年6月/原則 月1日(第3水)   | 平成20年ころ/週 4日(水・木・金・土)   | 平成27年5月/週 1回(金)   | 平成27年4月/月2回(第2火、第4土)  | 平成27年2月より現在のスタイル/毎週 水・金   |
| 主な対象/参加人数                | 都営住宅居住者(主に独居)/23名(H27.4.1現在)  | 近隣住民その他知人 /30名程度  | 近隣住民その他知人 /20名程度<br>区民ひろばに出て来れない方   | 近隣住民その他知人 /15名程度  | 巢鴨地藏通りの地域の居場所 /15名程度  |
| 【目的】<br>居場所・サロンの概要・目的    | 単身高齢者の孤立化防止目的。<br>居住者間の見守り及び交流<br>手作りの食事を通じての親睦<br>地域の関係機関の講師によるミニ講座  | 認知症予防と介護者のよりどころとして個人で開設。一人で抱えるのではなく、楽しく幸せな一日をおくれるように。<br>健康マージャン、ヨガ   | 誰もが気軽に集まれる場所、引きこもり・閉じこもりの防止。  | 地域福祉サポーター有志が中心となり施設と連携して実施。民生委員、高齢者総合相談センター、CSW協力。コーヒー等提供、懇談。認知症予防プログラム等実施。 | 「安心して、ホッとできる居場所がほしい」「誰にも遠慮なく一人でも気軽に行ける居場所が欲しい」「いろいろな人と触れ合えるきっかけが欲しい」等の多くの声にこたえるべく開設。          |
| 【活動拠点】<br>場所探しの工夫/課題/希望  | 都営住宅の集会所<br>会場費:0円<br>⇒代表者及びスタッフが都営住宅の自治会役員につき、活動拠点の確保については特に問題はない。   | 自宅リビング開放。サロン活動することを前提で建築した。会場費:実質設備維持管理等については持ち出しになっている。  | 自宅1階部分を開放。<br>会場費:社協サロン助成金を活用するが、参加費無料で運営につき、実質持ち出しとなる。   | 特別養護老人ホーム千川の杜地域交流スペースを活用。<br>会場費:施設負担。                                      | NPO法人楽の会リーラ事務所内喫茶スペース。<br>会場費:NPO法人の運営による。<br><br>コーヒー、紅茶、チョコレート、クッキー等販売。                     |
| 【人】<br>仲間集めの工夫/課題/希望     | 代表者の友人、隣近所、友人の友人等及び自治会の役員を中心に集まった。(コアスタッフは7名)<br><br>【課題】<br>次の世代のスタッフの確保ができない。   | 基本的な運営は家主の夫婦で行っている。<br>講師や運営のスタッフについては、としまボランティアセンターや地元大学、知人などを通じて確保。<br><br>【課題:】<br>一緒に活動をしてもらえるような、考えの合う人を求めている。(特に60歳代) | ボランティア活動の仲間3名を中心に企画運営。<br><br>ボランティア仲間、地元町会関係、民生委員、高齢者クラブへの周知活動。<br><br>参加者は、近所の人が誘い合わせてきてくれている。                    | 地域福祉サポーター有志が中心となり施設と連携して実施。民生委員、高齢者総合相談センター、CSW協力。                          | NPO法人楽の会リーラ関係者等により運営。<br>喫茶コーナーの担当は販売は当事者が担っている。  |
| 【運営資金】<br>運営資金についての現状と工夫 | (助成)社協のサロン助成活用。<br>(参加費)1回 100円。<br>(その他)スタッフ等持ち寄りや寄付等。<br><br>※自治会役員が請け負っている、都住の管理業務(広報配布、水質検査等)の報酬の一部を運営資金として活用している。            | (助成金)なし。自主財源。<br>(参加費)1回 500円～ 活動内容により設定し、必要な経費をまかなっている。<br>(その他)参加者からの持ち寄り。  | (助成)社協のサロン助成活用。<br>(参加費)無料。<br>(その他)スタッフ等持ち寄りや寄付等。  | (助成)社協のサロン助成活用。<br>(参加費)無料。<br>(その他)施設側が全面バックアップ。                           | (助成)特になし。<br>(参加費)コーヒー・紅茶 各250円。<br>(その他)NPO法人の運営による自主財源。                                     |
| 【運営】<br>運営のコツ/課題/希望      | ・運営上のルールは特に設けていない。<br>【課題】<br>・都住内には若い人はほほいしない。いても外国人で言葉が通じない。<br>・スタッフの高齢化。<br><br>(希望)<br>・大正大、女子栄養大の学生が参加してくれると、それだけで雰囲気明るくなる。 | ・運営上のルールは特に設けていない。<br>・SNSなどを活用し情報発信及び共有。<br>【課題】<br>SNS等の更新が滞っている。(現在は、スケジュールとクックパッド以外が停滞している状況。)                          | 【運営のコツ】<br>・立ち上げ準備の段階で、このサロンは、特に何をすると<br>いうわけでもなく、それぞれが、それぞれの楽しみを見つ<br>けることを大切に、決まりはあまりつくらず、出入りも自由<br>にしようということとした。 |   | 【課題】<br>地域へ広く開放しているが、実際は地域住民の方の利用はほとんどない。   |
| 【効果】<br>参加者の声/課題/希望      | とにかく集まって、食事して、歌って、しゃべって、笑うことができて楽しい。<br><br>【課題】<br>外国人の一人暮らしの方を誘いたいが、外国人コミュニティとの兼ね合いが心配。   |   | 自由におしゃべりを楽しめるのが良い。  |   | 出入り自由で、自由におしゃべりを楽しめる。静かに読書等をするもよし、ゲームをするもよし。居合わせた人と将棋などをするもよし。                                |
| 【展望】<br>今後の夢/課題          | 配食サービスのことも必要でやりたいが、いろいろ制約もありできない。食事提供を安心・安全な体制で行うためのノウハウやルールをわかりやすく整理して教えてもらいたい。  | 【課題】<br>自身の病氣いより活動内容を縮小したが、以前のレベルに戻りたい。   | 【課題】<br>12時を挟んでの設定なので本当は昼食の提供を前提で開催したい。<br><br>15   |   | 地域福祉サポーターと交流する場を持ったことがきっかけで、現在、千川の杜で開催しているらくゆうサロンへコーヒーを納めている。<br>こうした、地域福祉活動をしている人同士の交流の場は必要。 |



☆ その他のサロン  
 1 きんぎょサロン  
 2 アートカフェ

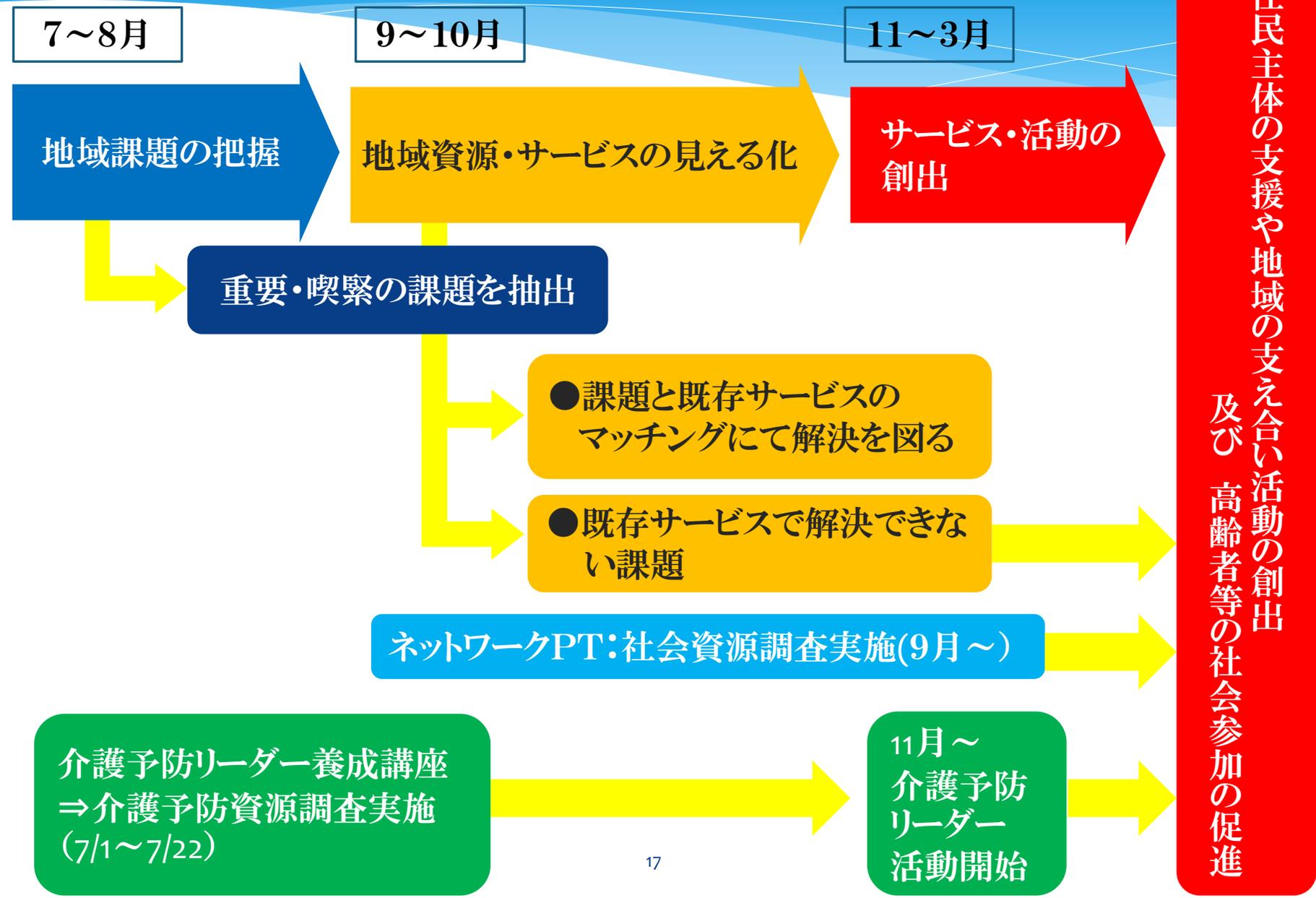
- 介護予防サロン
- 1 ほほえみサロン
  - 2 中山道サロン
  - 3 おおつかサロン
  - 4 駒込サロン
  - 5 スマートエイジング倶楽部
  - 6 東池袋サロン
  - 7 おとこのサロン
  - 8 西池サロン
  - 9 いげよんサロン
  - 10 ささえ手サロン
  - 11 要町サロン
  - 12 アトリエクラブ

- ◇認知症カフェ
- 1 目白 MM カフェ
  - 2 レストランしもさんち
  - 3 そよかぜカフェひまわり
  - 4 レストランまんぞく
  - 5 MeMo カフェ
  - 6 いずみサロン
  - 7 仄仄カフェ
  - 8 レストラン
  - 9 出前カフェあつたか
  - 10 とことこカフェ

- △民生児童委員主催
- 1 子育てサロンさくらんぼ
  - 2 子育てサロンつくしんぼ
  - 3 子育てサロンぴよぴよ
  - 4 子育てサロンたんぽぽ
  - 5 子育てサロンぱおぱお
  - 6 子育てサロンかるがも
  - 7 ホットサロン
  - 8 みみずくサロン (みみずく班)
  - 9 みみずくサロン (さくら班)
  - 10 みみずくサロン (ふじみだい班)
  - 11 みみずくサロン (ながさき班)
  - 12 みみずくサロン (さくらんぼ班)

- ◇住民主体のサロン
- 1 巢鴨5丁目大親町会高齢者サロン
  - 2 楽楽吹き矢
  - 3 栄養シェアサロン
  - 4 西サパートナーズ
  - 5 千草会
  - 6 北大塚1丁目アパート
  - 7 なかよしさくら会
  - 8 お庭クラブ
  - 9 南大塚公園ラジオ体操会
  - 10 創年サロン結の会
  - 11 サロン・ほがらか
  - 12 サロン・ひまわり
  - 13 サロンさんぽ道
  - 14 高南ふれあいサロン
  - 15 サロン寿
  - 16 友引の会
  - 17 サークル遊友
  - 18 きずなサロン
  - 19 しいの樹サロン
  - 20 ちゃべる会
  - 21 らくゆうサロン千川の杜
  - 22 ながおかさんち
  - 23 カレーサロン
  - 24 アトリエ会
  - 25 豊島ハイツ「茶の集い」
  - 26 ふれあい いきいきサロン
  - 27 みたけクラブレクリエーション
  - 28 楽居

# 地域のささえあいの仕組みづくり協議会(下半期)(案)



# 地域のささえあいの仕組みづくり協議会(下半期)(案)

介護予防リーダー活動開始

ネットワークPT社会資源調査実施(9月～)

地域資源・サービスの見える化

サービス・活動の創出

地域資源情報整理

活動グループ支援

活動状況ヒアリング

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

第3回(9月下旬)

地域の資源の状況  
と主な課題

第4回  
(11月上・中旬)

地域課題への具体的な対応  
・既存のサービスや活動と地域  
課題への対応方法について整理。  
・サービスや活動の創出。

第5回  
(1月下旬～  
2月上旬)

・サービスや活動の  
創出の状況

第6回  
(3月中旬)

・今年度の総括  
・次年度に向けて

| テーマ             | 社会資源の状況  | 課題  | 課題に対する対応案等意見概要   |
|-----------------|--|---|--|
| 1 買物支援          | <ul style="list-style-type: none"> <li>社協やシルバー人材センターの他にNPO、株式会社等多様な事業主体が区内全域を対象に事業参入。</li> <li>日常生活圏域においては、学生出前定期便（大正大学・社協連携）の実践やコンビニ・スーパー・生協による配達サービスが実施されている地域もある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域でのつながりを活かした買物支援をどのように構築するか。</li> <li>小地域でのちょっとした買物支援のニーズへの対応。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>その人の地域でのつながりを活かした生活支援の在り方という視点。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➡なじみの店を活用した買物支援を検討する場合、注文と配達システムをどのように構築するかという課題がある。商店街と地域住民との協働が不可欠。</li> </ul> </li> <li>「とくしまる」（移動型スーパー）の事業参入予定がある。このことにより、買物事情には若干の変化が予測される。</li> </ul>  |
| 2 家事支援          | <ul style="list-style-type: none"> <li>社協やシルバー人材センターの他にNPO、株式会社等多様な事業主体が参入。豊島区全域を対象にサービスを展開している。</li> <li>区民ひろばなどで家事の自立に向けたプログラムが実施されている。（男性の料理教室など）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境を低下させない取り組み。</li> <li>家事支援を近隣の支え合いの中で行うための新たなルールづくり。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自立を支えるプログラム提供、参加機会の創出。</li> <li>家事支援には、商行為が伴うサービスで対応できる部分と住民の支え合いの仕組みでできる部分がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➡これまで、「家の中の支援」までは踏み込んでこなかった経緯がある。一定のルールを決める必要があるのではないかと</li> <li>➡新たなルールづくりの考え方については継続協議を要する。</li> </ul> </li> </ul>   |
| 3 外出支援          | <p>【同行型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社協やシルバー人材センターの他にNPO、株式会社等多様な事業主体が区内全域を対象に事業参入。</li> </ul> <p>【移送型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー会社（介護タクシー、介助付登録タクシー）と社協のハンディキャブ事業がある。</li> <li>基本的に公共交通は充実している。</li> <li>隣接区に走行しているコミュニティバス等の資源がない。</li> </ul> | <p>【同行型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>買物支援と同様の課題がある。</li> </ul> <p>【移送型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最寄りの交通機関までの距離・高低差による不便さ。</li> <li>近距離利用、費用の問題。</li> <li>新たな交通機関を設けることの困難さ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>外出支援の主なニーズは、通院、買物、銭湯等への移動である。銭湯については廃業等により、利用が困難な地域の人も出てきている。</li> <li>◆福祉施設所有の資源活用による対応について（社会福祉法人の地域貢献活動の一環で対応） <ul style="list-style-type: none"> <li>施設所有の車両と運転手の活用</li> <li>施設設備の開放（入浴設備の地域開放）</li> </ul> </li> <li>（実施上の課題） <ul style="list-style-type: none"> <li>エリア、対象をどのように設定するか。</li> <li>活動に対する保険をどのようにかけるか</li> <li>➡モデル地域を設定し、テストケースとして実施。</li> </ul> </li> </ul> |
| 4 配食・会食         | <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者配食サービス（区）、弁当宅配業者（民間）の他、高齢者施設が独自の事業としてサービスを提供している。（事例）いけよんの郷配食サービス 顔見て食べよう会 ふれあい給食（アトリエ村単独事業）等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の支え合いの活動としては安心・安全に開催するためのノウハウの整理。</li> <li>孤食の解消の視点での会食の重要性。</li> <li>活動拠点の確保の課題。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域での会食開催に関するガイドライン整理。</li> <li>福祉施設が独自に企画・実施している会食機会の提供に関する活動を拡げていく。</li> <li>調理設備を持つ資源の発掘（公共3か所） <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ほかに活用できる場所への働きかけ 例え、教育機関、一般企業 事例を踏まえ</li> </ul> </li> </ul>   |
| 5 声かけ・見守り活動     | <ul style="list-style-type: none"> <li>配食等他の訪問型のサービスに付随した声かけ・見守りの実践がある。</li> <li>サロン等の人が集まる場を中心とした声かけ・見守りの機能がある。</li> <li>様々な機会を活用した声かけ・見守りの仕組みは区全域に点在している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動している人同士の情報共有など交流の機会がない。</li> <li>サービスにつながっていない人の状況把握をより効果的に行いたい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動実践者の交流と実践内容をアピールする機会や、定期的に情報交換をするような集まりを設ける。</li> <li>世代間交流も視野に入れた取り組みが意外な効果を出している（池袋本町+池袋中のコラボ事例） <ul style="list-style-type: none"> <li>➡面接率の向上、子どもたちの教育にも効果</li> <li>➡「人づくり」にもよい</li> </ul> </li> </ul>  |
| 6 交流の場・ボランティア活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>サロンや居場所等交流の場は点在している。</li> <li>認知症カフェの新設や介護予防リーダーや地域福祉サポーターなどが中心となった居場所づくりにより交流の場は増加傾向にある。</li> <li>サロン等以外にも人が集う場所においては、独自のコミュニティが形成されている事例がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動団体のメンバーの高齢化の課題。</li> <li>活動参加につながっていない人の状況把握をより効果的に行いたい。</li> <li>活動拠点の確保の課題。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実践者の交流機会を設け、実践ノウハウなどの共有を図る。</li> <li>実践活動の周知と新たな担い手とのマッチングの場を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➡「サロン・居場所活動実践者ネットワーク会議」、「サロン・居場所活動実践フォーラム」等の開催。</li> </ul> </li> <li>活動団体・組織のステップアップへ向けた支援。➡法人格の取得等。</li> <li>「サロン・居場所活動」を起点とした地域における支え合いの仕組みづくり等。</li> <li>サロンや居場所の立ち上げ支援に関するノウハウの蓄積。活動拠点活用のガイドライン整理等。</li> </ul>   |

| テーマ                | 今後の対策  | 備考                         |
|--------------------|--|----------------------------|
| 1<br>買物支援          | 商店街、地域住民と協働で、注文と配達システムづくりについて検討してゆく。                                 | 継続協議<br>情報収集               |
| 2<br>家事支援          | 住民の支え合いの仕組みでできる家事支援の考え方については新たなルール作りが必要であり、継続的に検討してゆく。               | 継続協議                       |
| 3<br>外出支援          | 入浴サービス利用の一つの課題解決を契機に、地域における移動・外出支援の仕組みづくりについて具体的に取り組んでゆく。            | 下半期重点                      |
| 4<br>配食・会食         | 会食の機会の拡充に向けた広報啓発、会食開催に関するガイドライン整理等と、調理設備を持つ施設の発掘を行う。                 | ガイドライン整理<br>実践事例収集<br>資源開拓 |
| 5<br>声かけ・見守り活動     | 活動実践者の交流と実践内容をアピールする機会と、定期的に情報交換を行う場、新たな担い手とのマッチングの場の創出。             | ネットワーク<br>会議開催             |
| 6<br>交流の場・ボランティア活動 | 立ち上げ支援、活動団体・組織のステップアップへ向けた支援。<br>「サロン・居場所活動」を起点とした地域における支え合いの仕組みづくり。 | →来年度<br>フォーラム<br>開催など      |

| ●作業部会の設定 →各テーマとも、地域づくりという視点を根底におき検討する。   |          |  |
|--|----------|--|
| 作業部会・テーマ   | 主な構成メンバー | 活動例  |
| <p>【外出支援】<br/>移動・外出の仕組みづくり</p>   |          | <p>【下半期】<br/>企画調整<br/>モデル実施</p> <p>【次年度】<br/>企画調整<br/>本格実施</p>             |
| <p>【配食・会食】<br/>会食開催に関するガイドライン整理<br/>活動実践事例収集<br/>調理設備を持つ施設等資源の開拓</p>                     |          | <p>【下半期】<br/>企画調整<br/>情報整理</p> <p>【次年度】<br/>利用できる資源の開拓<br/>ガイドブック作成</p>    |
| <p>【交流の場・ボランティア活動】<br/>ネットワーク会議の開催<br/>活動実践者フォーラム開催<br/>活動団体の運営支援体制づくり<br/>地域資源情報の整理</p> |          | <p>【下半期】<br/>実践者の顔合わせの場づくり</p> <p>【次年度】<br/>実践報告会等開催<br/>活動団体運営支援体制づくり</p> |

# 作業部会①【移動支援】の活動について

## 移動支援サービスのしくみづくり

### ■必要な機能

- ・移動支援サービスを管理するしくみ（運転管理）
- ・車両の確保
- ・運転・添乗ボランティアの養成
- ・目的地側の体制づくりへの支援

➔ 協力機関との調整が必要

### 協力機関との調整

特養施設長会

社会福祉法人  
ネットワーク会議

車両借用・提供

資金援助

民間会社

社会福祉法人

公益活動の一環として

頻度・・・月1回程度

実施エリア

・・・小さな生活圏域

人の養成

ボランティアの組織化

協力機関との調整

社会福祉協議会

シルバー人材センター



添乗



運転



対象者の身体状況

(要検討)

外出の目的



目的地

例：入浴設備の提供

協力機関との調整

特養施設長会

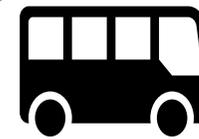
社会福祉法人NW会議

浴場組合



運転管理

資源の確保



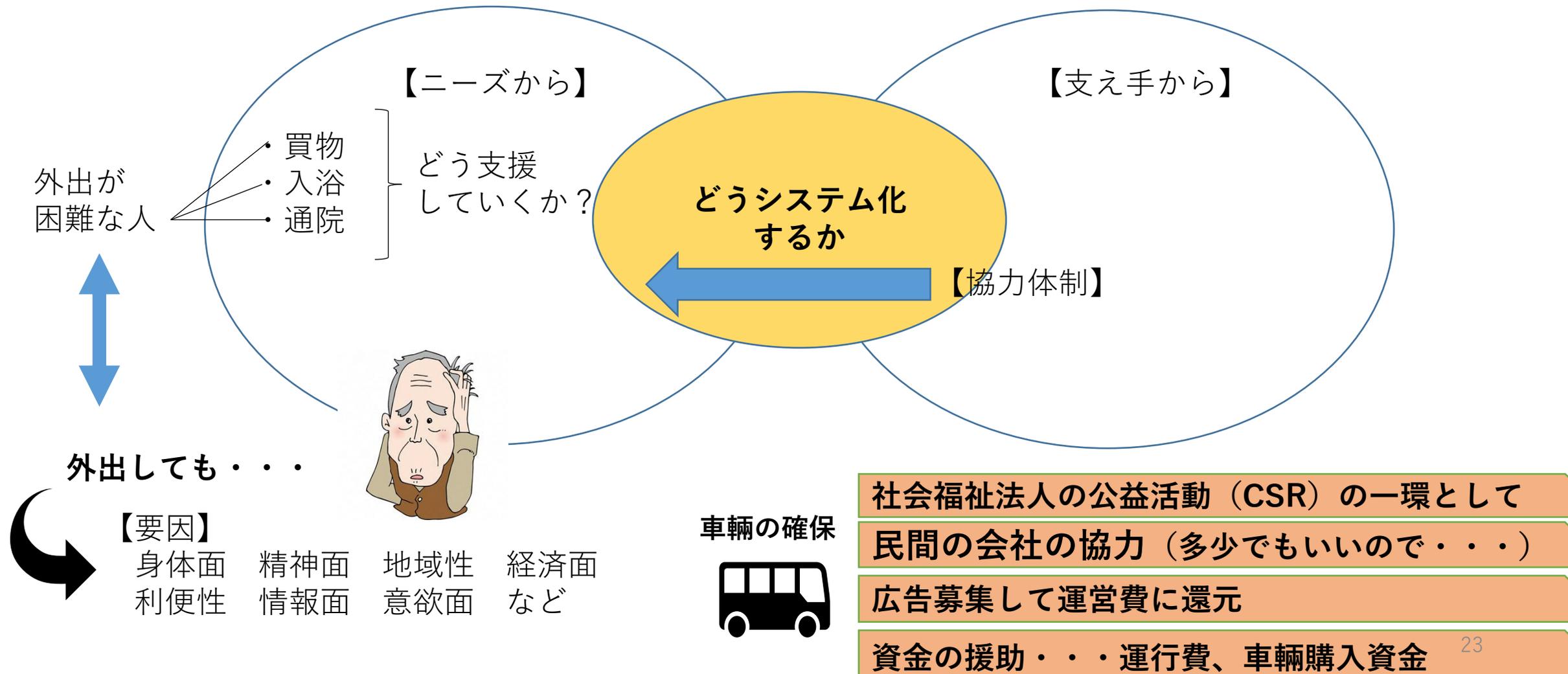
車両

# 移動支援



支援につながる、サービス同士がつながる  
きっかけを作ってくれる取り組み

## 先ず何から考えていくか？



【ニーズから】

外出が  
困難な人

- 買物
- 入浴
- 通院

どう支援  
していくか？

どうシステム化  
するか

【支え手から】

【協力体制】

外出しても・・・

【要因】

- 身体面
- 精神面
- 地域性
- 経済面
- 利便性
- 情報面
- 意欲面
- など

車両の確保



社会福祉法人の公益活動（CSR）の一環として

民間の会社の協力（多少でもいいので・・・）

広告募集して運営費に還元

資金の援助・・・運行費、車両購入資金

## 小さな生活圏で考えてみると・・・

### 【メリット】

身近なニーズを把握できる。

個々の対応について柔軟に変化できる。

既にある社会資源を活用することで費用負担を抑えることができる。

身近な人の寄り添いによる安心感。

担い手



頼りにされ応えられているという実感

(実践事例) 個人所有の自家用車による個別送迎【地域の自家用車】

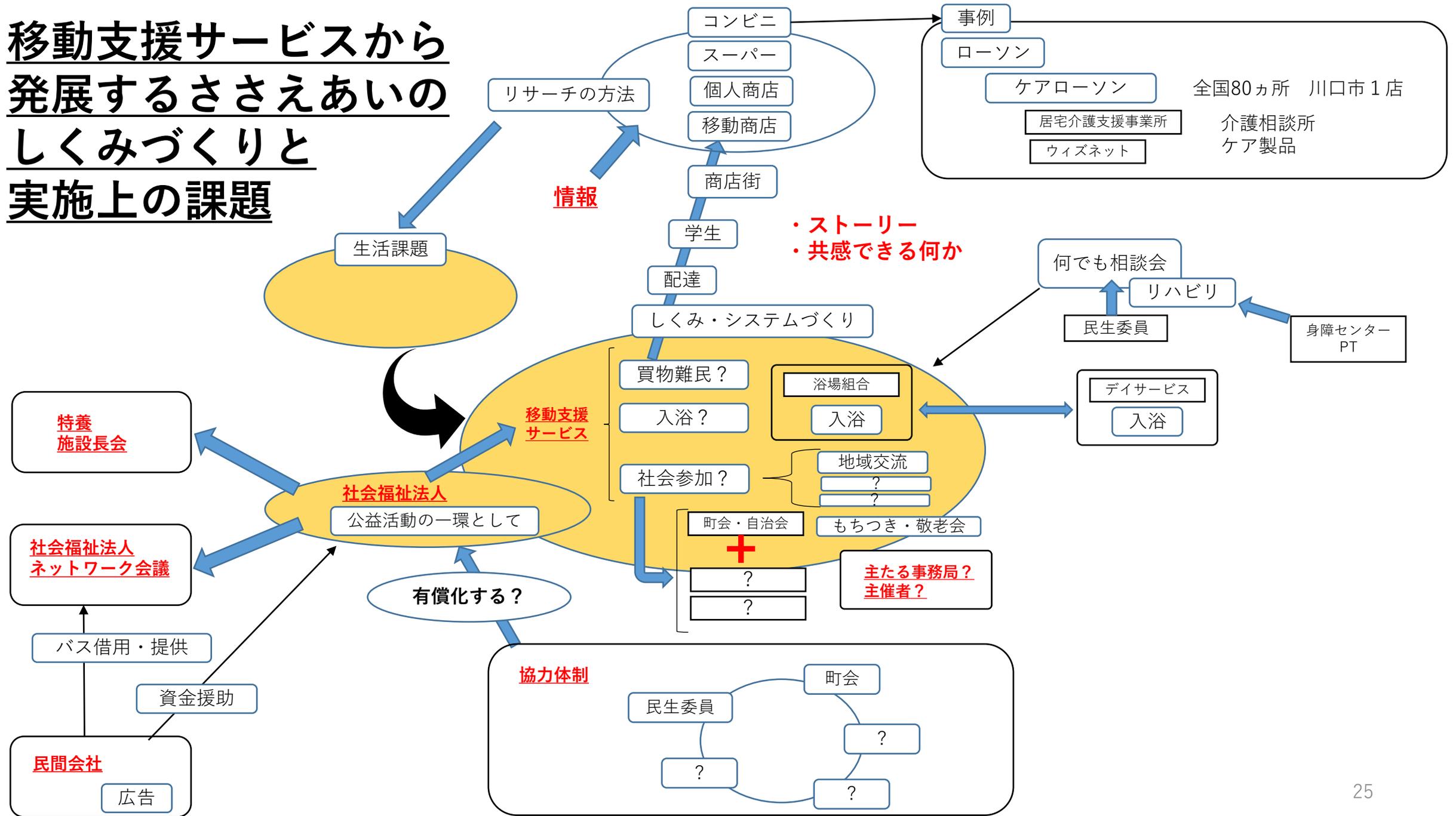
(その他に) 移動の支え→休む場所が(坂の下や途中、商店街へ向かう途中に)あれば・・・

生活の多様化 → 移動のニーズも多様化

目的

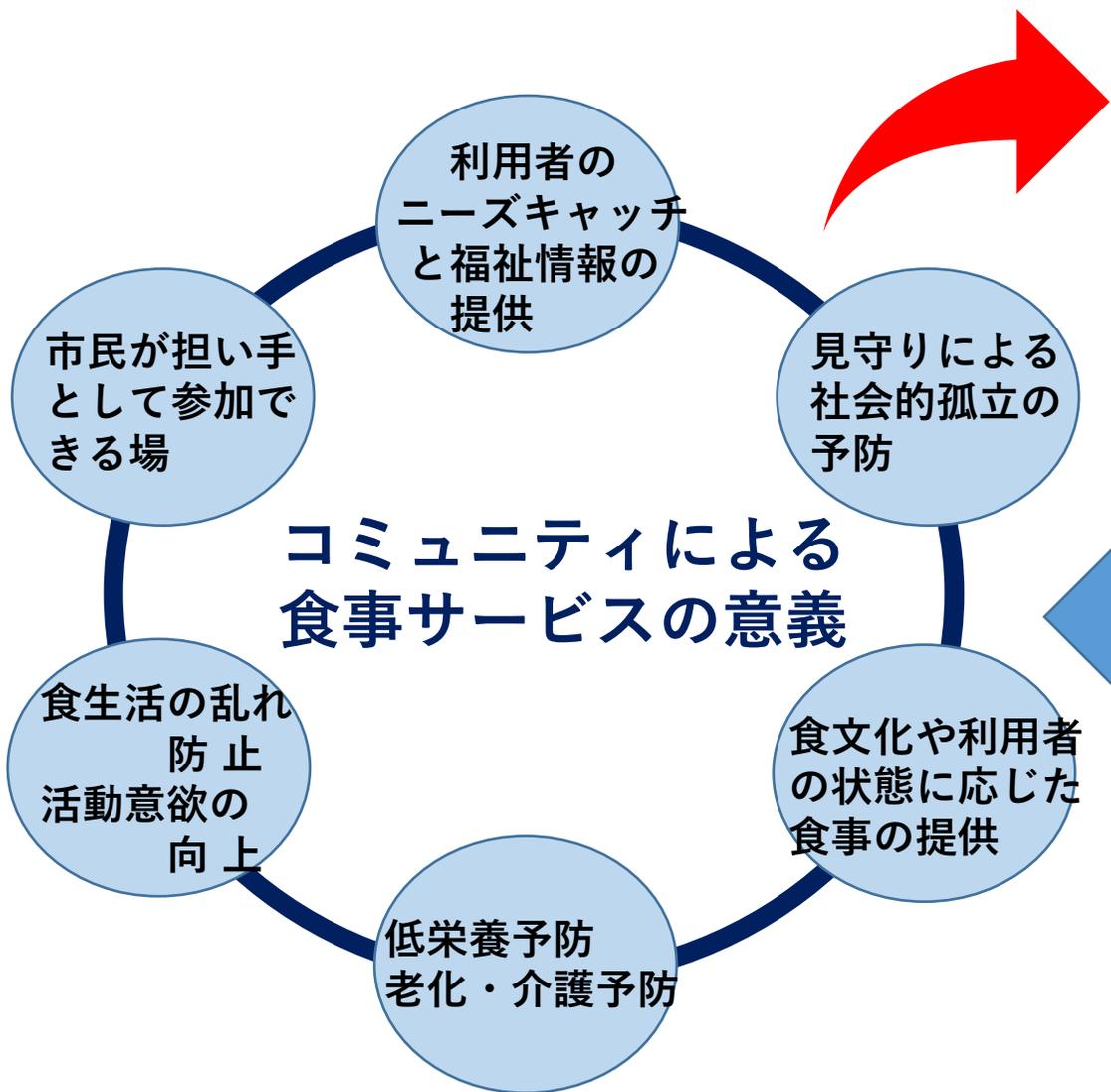
外出機会や外出意欲を創出する活動  
→  
行くところがあるということが大切!

# 移動支援サービスから 発展するささえあいの しくみづくりと 実施上の課題



# 作業部会②【配食・会食】の活動について

## 1. コミュニティによる食事サービスの意義 (食の福祉的支援から想定される要素)



## 2. それぞれの視点でのメリット

### ■利用者にとって…

- ・「バランスにとれた食事が食べられる」栄養改善
- ・「一人暮らしの生活を誰かが気にかけてくれる」くらしの安心感

### ■担い手にとって…

- ・地域に必要なサービスを自らつくる
- ・なかまづくりと参加の場
- ・老化予防、介護予防

### ■地域社会にとって…

- ・助け合いができる地域の形成
- ・「見守り力」「地域防災力」の向上

## 食の福祉的支援

食品衛生上のルールをわかりやすく整理する

## 3. 活動の糸口

### ■活動プロセス

- ①現在の実施状況と今ある資源の把握
- ②地域住民のニーズの把握
- ③地域住民のニーズに合う食事サービスを検討  
→具体的な活動準備へ

**(設備)**

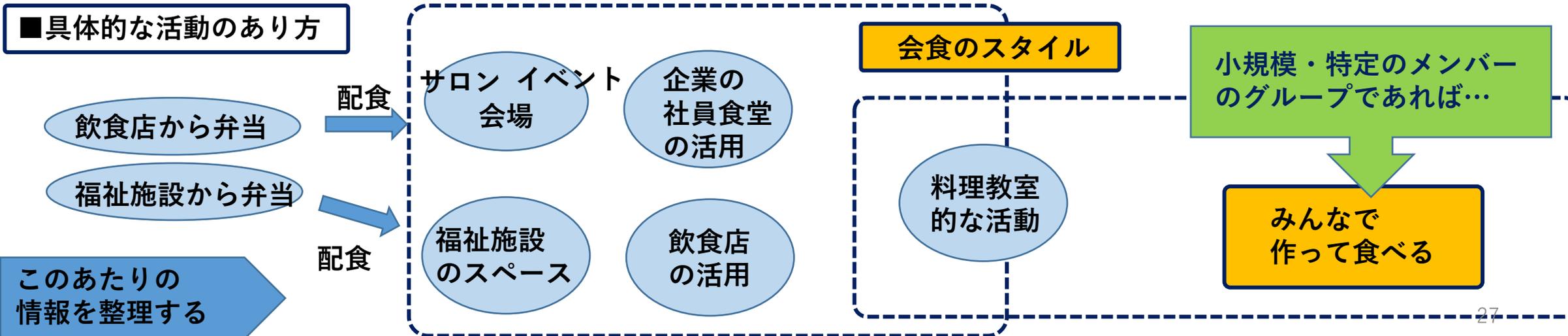
食品衛生の観点では食中毒の原因微生物を調理済み食品に付着させない「**下処理**」「**調理**」「**仕上げ**」の**3工程**が区画分けされた調理が望ましい。

**→小規模の場合**

- ・作業工程ごとに清掃や手指器具の洗浄を行う
- ・工程ごとにまな板や包丁を色分けし器具やシンクを洗浄

**調理スペースの営業許可（誰が許可申請をするか？）**  
**→最終的には施設の所有者に責任がおよぶ**  
**…つまり区有施設の場合、行政が責任を負うことになる。**

| 保健所への届出方法       | 対 象   | 備 考                              |
|-----------------|-------|----------------------------------|
| 飲食店として許可を得ている場所 | 不特定多数 | 通常の飲食店として営業                      |
| 集団給食の届出         | 特定多人数 | 事前予約制などで対応<br>※厨房設備が許可要件に合わないケース |
| 行事開催届           | 不特定多数 | 年間5回（お祭りや地域イベントなど想定）             |



# 作業部会③【交流の場】の活動について

## 1. 交流の場の立ち上げに必要な要素

### 【ひと】

- (1) リーダー (2) 中核メンバー
- (3) 参加者

### 【もの】

- (1) 空き家・借家
- (2) 空き店舗
- (3) 学校の余裕教室
- (4) NPOの事務所や介護事業所等
- (5) 自宅
- (6) 移動型の「居場所・サロン」活動
- (7) 公共の場

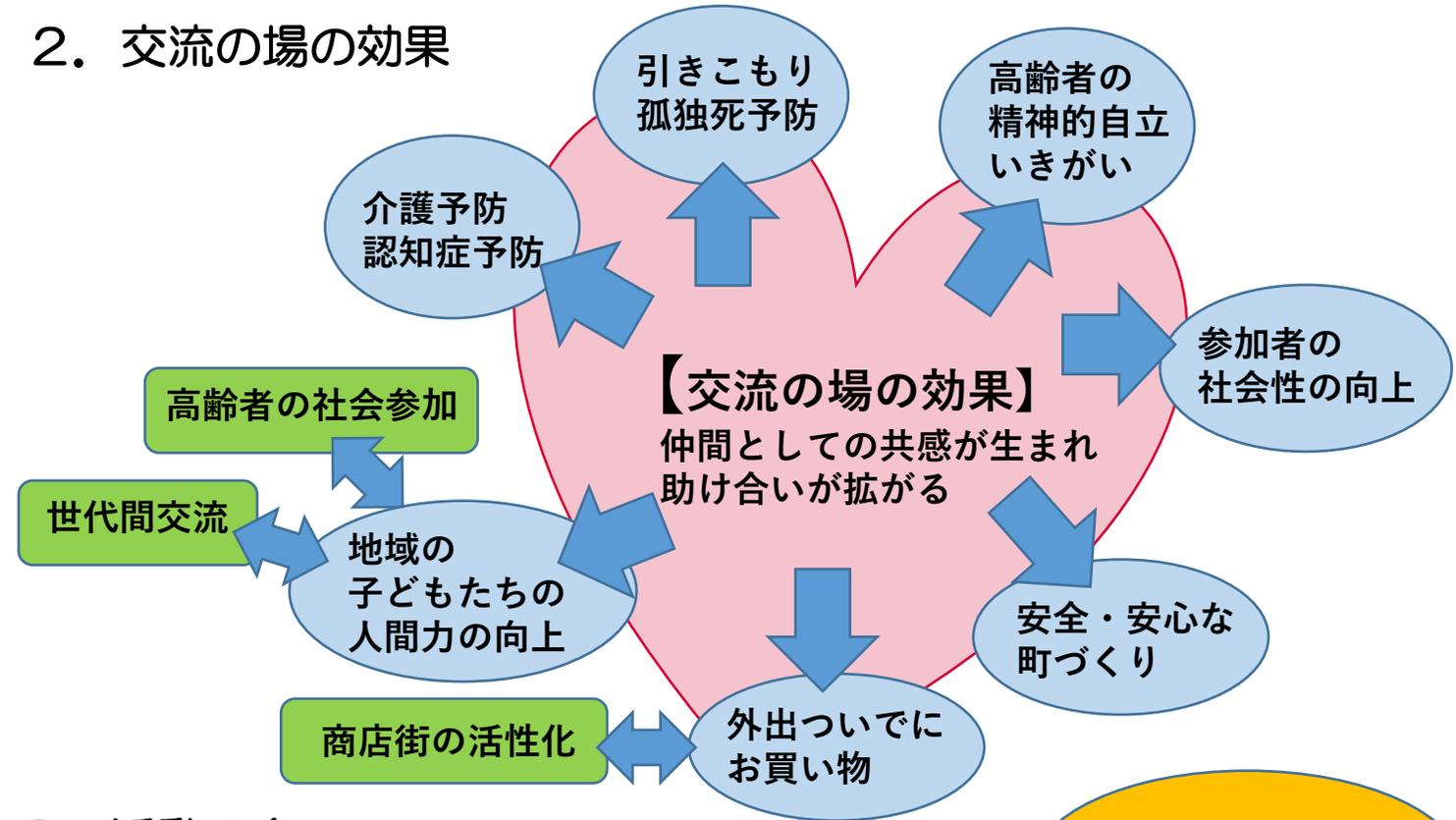
### 【おかね】

- (1) 資金の調達方法（年会費・賛助会費）
- (2) 参加費
- (3) 寄付金
- (4) 出資金
- (5) 行政の補助金・助成金
- (6) さまざまな助成団体等
- (7) バザーなど開催

### 【情報】

- (1) 収集と発信

## 2. 交流の場の効果



## 3. 活動の糸口

まずはこの情報を集約し可能性を探る。  
⇒更に「町会会館」をリストアップする作業を加えてみる。

現在活用している  
資源のMAP化

社協広報誌「トモニーつうしん臨時号」サロン特集号H28.3月発行  
1/27入稿予定で掲載情報確認及び取材活動（CSW中心に実施）

## 町会会館等一覧（町会会館、町会事務所等）

（出典 区民活動推進課作成「認可地縁団体資産目録」）

| No. | 町会名         | 会館等名称         | 所在地                        | 町会長 | 備考             |
|-----|-------------|---------------|----------------------------|-----|----------------|
| 1   | 南長崎三丁目南部町会  | 南長崎三丁目南部集会所   | 南長崎 3 - 2 2 - 8            |     | -              |
| 2   | 西巣鴨新田町会     | 西巣鴨新田会館       | 西巣鴨 1 - 2 7 - 1 4          |     | 86.83㎡         |
| 3   | 長崎四丁目町会     | 長崎四丁目町会会館     | 長崎 4 - 2 5 - 3             |     | 83.86㎡         |
| 4   | 上池袋池八町会     | 上池袋池八町会会館     | 上池袋 4 - 1 6 - 1            |     | 340.81㎡        |
| 5   | 東池袋サンシャイン町会 | 東池袋サンシャイン町会会館 | 東池袋 4 - 3 9 - 2            |     | 206.64㎡        |
| 6   | 高田三丁目町会     | 高田三丁目町会事務所    | 高田 3 - 1 9 - 1 3           |     | -              |
| 7   | 千川二丁目町会     | 千川二丁目会館       | 千川 2 - 2 6 - 9             |     | 74.38㎡         |
| 8   | 東池袋南大塚仲町町会  | 東池袋南大塚仲町町会会館  | 東池袋 2 - 3 6 - 1 4          |     | -              |
| 9   | 池袋日出町会      | 防災用備品倉庫       | 南池袋 2 - 2 5 - 4 3 及び 1 7 先 |     | 倉庫内スペースで役員会等実施 |
| 10  | 高田一丁目町会     | 高田壺番館         | 高田 1 - 2 4 - 1 1（規約上の事務所）  |     | 83.70㎡         |
| 11  | 高松三丁目町会     | 高三会館          | 高松 3 - 1 0 - 2 1           |     | 143.00㎡        |
| 12  | 要町一丁目町会     | 要町一丁目会館       | 要町 1 - 4 0 - 1 7           |     | 164.00㎡        |
| 13  | 南長崎六丁目町会    | 南長崎六丁目町会集会所   | 南長崎 6 - 2 4 - 1 3          |     | -              |

## ※区民活動推進課コメント

不動産登記を目的に認可地縁団体としての届出のあった団体について財産目録等にて確認したものである。

豊島区の場合、町会会館の所有については特に補助等を行っていないので、ほとんどの町会は「町会会館」等を持っていない。

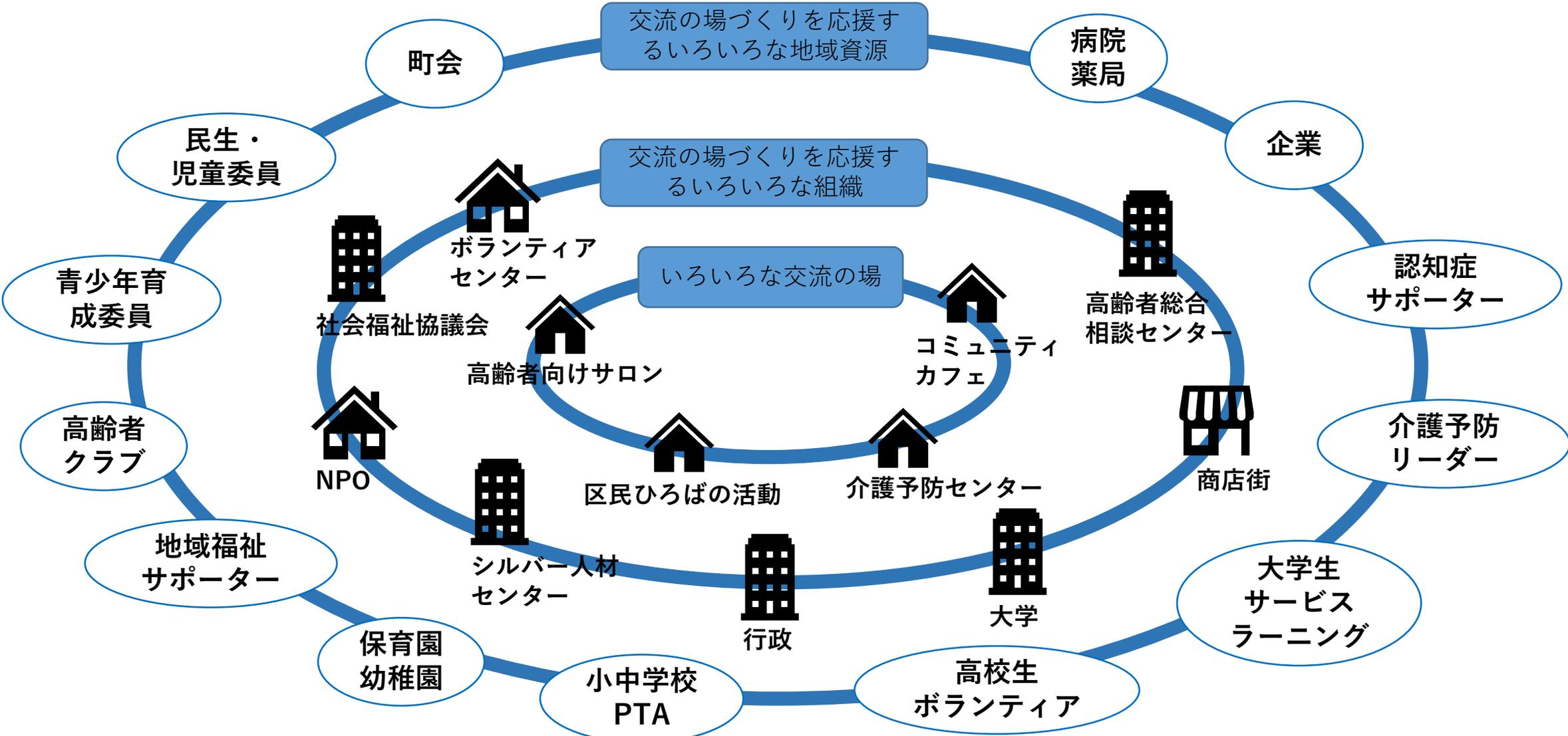
代わりに、区民集会室等を活用し役員会等を行っている。

町会長等個人所有の物件については把握していない。

※その他、宮仲町会、南大塚東南会、池袋本町一丁目町会も認可地縁団体であるが、倉庫のみ所有で会館等は所有していない。

# 作業部会③【交流の場】の活動について

「交流の場づくり」が地域をつなぐ（イメージ図）



# この頃の課題

具体的に見える活動・・・作業部会

地域づくり

地域活動は  
第二層イメージ

行政側にとっては  
なかなか具体的な成果が見えない活動

行政主管課の考えと  
社協Coとの間の  
意識のズレ(?)

第一層の活動とは？

第一層Coに求めら  
れている役割って？

次年度の委託契約の検討を通じ明確になった課題

【組織としてのSV体制へ】

局長 地域相談支援課長 地域相談支援課チーフ 担当Co

スケジュール感の伝え方に課題があったのではないか？

この事業の目的について行政担当者と共有できていたかどうか？

当該事業に対する  
組織的バックアップ体制

定例の打合せについても  
組織的バックアップ

改めて、外部講師を招き  
勉強会開催予定

## 次年度の委託契約の仕様書より

### 3. 委託内容

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくため、生活支援コーディネーター（第一層）を設置し、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制構築に向けたコーディネート機能を果たす協議体の運営等に係る下記の業務を委託する。

(1) 甲と協議し、第一層となる区全体を統括する協議体及び作業部会の運営に係る事務局となる

① 開催の案内

② 会議資料・記録の作成

③ 会議の進行・ファシリテーション

(2) 地縁団体等多様な主体への協力依頼などの働きかけ

地域主体の支え合いのしくみづくりの重要性などについての啓発及び周知

(3) 関係者のネットワーク化

地域の情報を把握している CSW、地域包括支援センター等と連携したネットワークづくり

(4) 地域のニーズと資源の状況見える化、課題提起

既存の地区懇談会（8 包括圏域で実施）、区民ミーティングなどから得られた情報を活用し、協議体の構成メンバーと共有することによる課題提起及び課題解決のための取組案の検討

(5) 試行的取組の実施と検証

新たな地域のささえあい活動やサービスの実施及びその必要性・効果・課題・実用性等についての検証

## 今後の動向について

### 新福祉ビジョン (2015.09)

「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現  
—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—

- ①分野を問わない全世代・全対象型の新しい地域包括支援体制の確立
- ②生産性の向上と効率的なサービス体系の確立
- ③新しい地域包括支援体制を担う人材の育成・確保

### ニッポン一億総活躍プラン (2016.06)

「骨太方針2016」「日本再興戦略」「規制改革実施計画」  
「ニッポン一億総活躍プラン」の4つを閣議決定

「新しい三本の矢」【的】「戦後最大の名目GDP600兆円」「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」

【矢】①希望を生み出す強い経済 ②夢をつむぐ子育て支援 ③安心につながる社会保障

「働き方改革」【目標】①同一労働同一賃金の実現など非正規雇用の待遇改善

②長時間労働の是正 ③高齢者の就労促進

→「**地域共生社会の実現**」という新語

### 『我が事・丸ごと』地域共生社会実現本部 (2016.07)

地域共生社会の具体化を図る組織

「地域力強化」「公的サービス改革」「専門人材」の3つのワーキンググループ

→「地域包括ケアシステムの深化、『地域共生社会』の実現」

高齢者・障害者・子どもなど全ての人々が、一人ひとりの暮らしといきがいを、ともに創り、高め合う社会（『地域共生社会』の実現）、対象者ごとの福祉サービスを『タテワリ』から『まるごと』へと転換

⇒ 高齢者に限定されている地域包括ケアシステムの対象者の「全世代・全対象」への拡大・深化が、厚生労働省全体の認知を得たと言える。

# 地域における住民主体の課題解決・包括的な相談支援体制のイメージ②

